

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トモノエ久が原教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年3月6日 ～ 2025年3月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数)	40名
○従業者評価実施期間	2025年3月6日 ～ 2025年3月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SSTを行うことで、コミュニケーションの練習の場を提供している。	パーソナルスペースについて等日々課題と思われる事案を取りまとめ、SST課題として取り上げるようにしている。	今後、心理士監修の書籍やカード教材等も用いて、より内容を充実させられることを目指している。
2	心理士や保育士、作業療法士の資格を持つ職員が常駐している。送迎業務が無い分、日々の支援計画等を支援前後の時間でしっかりと職員間で共有することが出来ている。	チームで話し合い、児童に対して暴力や暴言でなく、自分の言葉で気持ちを表現する練習を行っている。	外部の勉強会や研修への参加。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全ての児童のニーズに応えることのできる活動や支援の提供が課題となっている。	利用児童の年齢層に幅がある。	児童や保護者へ向けた活動内容に関するアンケートの実施
2	クールダウン時に物を散乱させてしまう等して落ち着いて児童とお話できる環境が提供できていない。	クールダウン時に使用できる個室が少なく、個室にも何らかの物品を置いている為、クールダウンに専念が出来ない。	個室を整理して、クールダウン時にも安心して使用できる環境を整えていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						2025年3月29日	
発達支援トモノエが原教室（放課後等デイサービス）		利用児童数						49名	回収数 40名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	7	1		個別利用の為、グループ利用の方は分かりません 個別指導に関しては上記選択だと思えます もう少し広いといいなと思います	余裕を持ったスペースは確保できていますが、体格の大きな児童も多いため日々の活動の中で随時気を付けています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	8	1		個別指導は1対1での指導の為、グループ利用に関しては分かりません 実際何人の職員の方が1回の指導にあたっているのか詳しくは知らないで適切かどうかを判断する	配置基準は満たしているうえで、児童の安全を最優先し、活動の質も確保できる人員の確保と充実を維持できるように取り組んでまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	7			個別利用の為、グループ利用の方は分かりません 個別指導に関しては上記選択だと思えます	配置基準は満たしているうえで、児童の安全を最優先し、活動の質も確保できる人員の確保と充実を維持できるように取り組んでまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	6			個別利用の為、グループ利用の方は分かりません 個別指導に関しては上記選択だと思えます	毎日清掃・消毒をかかさず実施しております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	8			個別利用の為、グループ利用の方は分かりません 個別指導に関しては上記選択だと思えます	常勤・非常勤問わず、意見を発信できる体制を整えて、目標など共通認識を持ったうえで日々の支援を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	8			個別利用の為、グループ利用の方は分かりません	弊社のホームページ又はHUGシステムにて毎年結果を公開させていただいております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	3					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	3					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	4			個別利用の為、グループ利用の方は分かりません 個別指導に関しては上記選択だと思えます 毎週違った楽しい課題を用意して頂いております	児童の立場に立って、飽きが来ないようになるべく様々な活動を考えて、幅広い体験を提供できるよう努めて参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	14	18		個別利用の為、グループ利用の方は分かりません	一度地域のお祭りなどに参加させていただいたことはありました。今後より積極的に交流が出来る機会を持てるように努めてまいります。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	2	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	23	6		保護者向けの講演会などであると嬉しい です	ご意見ありがとうございます。 今後、是非保護者様向けの講演会や勉強会についても企画できればと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	36	4			団の日の活動の様子はお話しして下さるのですが、学校や家庭、他の放課後 デイの様子など、共有する機会があると いいなと思いました。	送迎時に口頭での説明や、お会いできない際にはHUGを活用して、都度お子様の成長点や課題点を共有させていただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	14	21		個別利用の為、グループ利用の方は分かりません	保護者様同士の交流の機会については現状機会を作ることは出来ておりません。 今後、検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	9				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	2	1		個別指導の担当者からは毎回必ずレッスン後にフィードバックがあるので、レッスン内容などが詳しく分かりやすい hugの連絡がメールに届くといい	ご意見ありがとうございます。 HUGのメール機能については、今後アプリ移行のご案内等を改めて周知しまして、より便利にHUGを活用いただけるように情報を発信して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	3	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	13			個別利用の為、訓練の実施などについては分かりません	マニュアルは準備できております。 今後、保護者様にも内訳を周知・説明できるように努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	16			個別利用の為、訓練の実施などについては分かりません どちらかわからなかった	法定通り、定期的な避難訓練の実施をしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	6			今までの様なケースがない為不明	ヒヤリハットや事故が発生した場合には、事実を保護者様に迅速に周知するように心がけています。また、再発防止に向けたミーティングも都度実施をしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	6			「いつものえさんのある曜日が一番楽しい」と言っています。 毎週楽しみにしています	嬉しいご意見をありがとうございます。 引き続き、子ども達に喜んでもらえる教室となるように、日々努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	7			いつもご配慮戴きとても感謝しております	ありがとうございます。 引き続き、職員一同子供たちの安全・成長を第一に考え日々支援に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援トモノエが原教室（放課後等デイサービス）				公表日	2025年3月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別・集団療育共に行政の定めるお子様1人当たりの広さ以上のスペースを確保し、適切な活動空間を提供できるように務めております。	ワンルームなので、年代別に活動を分ける際に、どのように環境づくりを行っていくかが課題となります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員に加え、個別療育に従事できる職員数は確保しております。	日により人数差があることがある為、なるべく出勤数が均一に調整をして参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		「きもちメーター」等自分の気持ちを可視化し伝えられるような掲示物等を活用しています。	引き続き日々怪我が無いように配慮し、その中で改善できる点は改善し、より快適に過ごす頃ができるよう取り組んでまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	毎日清掃・消毒を欠かさず実施が出来ています。	気持ちをクールダウンさせる場所が少ない為、場所を確保できるように検討していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		宿題をするスペースを設ける等室内でも集中しやすい場を提供しております。	年齢層でフロアを分ける事が出来ていないので、今後の課題とさせていただきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		就業前後に職員間でのミーティングを実施しております。	より良い職場・支援環境になるようにPDCAサイクルの整備を進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回の全体向けのアンケート及び、個別面談の機会などに、ご要望やご意向を伺っています。	職員間でも内容を共有し、極力ご要望に沿うことができるようにプログラム内容などを検討していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		就業前後に職員間でのミーティングを実施しております。	必要に応じて個別面談等も導入し、より意見を把握しやすい環境を整えてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施は出来ておりません。	今後、当教室についても実施を前向きに検討しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	現状実施は出来ておりません。	今後外部講師による研修も企画しております。より適切なアセスメントが行っていきけるようにツールの整備も行っていきます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		障害特性や学年、発達の度合い、得手不得手など様々な要素を常勤・非常勤の垣根を超え職員間で共有・検討しながら、日々のプログラムの立案と実施を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		年2回モニタリング計画書や個別支援計画書を作成し、アセスメントを実施しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管・常勤・非常勤職員の垣根を越えて、支援に関する情報を日々共有し、療育に活かしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に計画書やモニタリングを用いて職員間の情報共有や目標の確認を行っております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		業務日報を活用し、日々の様子を記録するなど活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童のライフステージに応じて設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々ミーティングも欠かさず行い、支援の検証・改善を行っています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		複数の職員間で意見を出し合い、幅広い活動が提供できるように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況や親御さんからのご要望なども踏まえて支援を行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		就業前に職員間でのミーティングを実施し、役割分担や活動目標等を共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		就業後に職員間でのミーティングを実施し、課題や改善点等について都度整理しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日報等を活用して、日々より良い支援に繋げていく為の意見出しを行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回モニタリング計画書や個別支援計画書を作成し、アセスメントを実施しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		保護者様とご本人の思いを尊重しながら支援に取り入れ、他の連携機関と必要に応じて情報交換を行ないながら支援を行なっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		なるべく児童自身に自己選択の機会を与えるように支援をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童毎に担当者を決めて会議に出席するようにしております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、関係機関に電話をしたり直接話をする事で情報共有を行なっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時にご家庭から学校の様子を伺ったり、必要に応じ学校の先生にも電話などで情報共有を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、各関係機関との連携を取り入れながら、日々の支援を行なっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報共有の依頼があった場合等に速やかに対応し、必要に応じて各関係機関と連携を取っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		外部研修の紹介や業務としての参加を認める等して、研鑽する機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		商店街のお祭りなどに参加をしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		就業時間内に開催のものは参加するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUGのサービス実績記録や必要に応じて送迎時やお電話を通して、情報共有し支援の方向性の確認をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		困りごとなどがあれば、電話・HUGのメッセージなどで、その都度ご相談いただいております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明し、不明点をご質問のあった際に丁寧に説明することを心掛けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシートや面談時など、保護者のご意向を伺う機会を設け、確認する機会を作るようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時にご説明し、不明点をご質問のあった際には随時丁寧に説明することを心掛けております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の送迎やHUG等で、保護者様からのご相談に可能な限り迅速に対応できるように努めております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者様のご意見を頂戴しながら、今後必要に応じて企画、開催を検討していきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際には、内容の記録と原因や対策を検討し、迅速に保護者様への回答を行い、状況によっては行政機関への報告も行っております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		前月に行事予定を公開したり、公式LINEを作成したりしSNSの活用をしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		知り得た情報や書類等は外部に持ち出さないよう徹底し、個人情報に関わるものの取り扱いには細心の注意を払って管理するように周知徹底しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童に応じて絵や図、文章等を使い分けてお話をするようにしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		買い物課題や外出活動等で関わりを持てるよう努めております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		汚物処理等の実践研修を行なう等し、疑問点などがあった際にはその際に上げ職員間で話し合うことができております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		実際に避難所となるところまで歩いたり、緊急地震速報のアラームを鳴らして行動の練習をしたりと実際の災害時を想定した予行練習を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前にアセスメントシートを用いて、状況の把握をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントシートやHUGを用いて、状況や対応法の把握をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に防災訓練を実施し、実施後は振り返りを行ない、改善に努めております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・マニュアルの策定、委員会の配置、職員への周知を行なっております。 ・ご家族にもヘルプカードの作成依頼や緊急連絡先の共有などで連携を行っております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		複数人で意見を出し合いながら、ヒヤリハットを作成するようにしています。作成されたヒヤリハットは全員が閲覧し、共通した対策ができるよう努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を定期的に開催し、日々の支援の中で悩むことがあった際には話し合える場を設けております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束について保護者に説明し、同意書をいただくようにしております。	